

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	武蔵野市立南保育園
施設所在地	武蔵野市吉祥寺南町3-6-15

1. 活動のテーマ

<テーマ>

飼育

<テーマの設定理由>

当園の園庭では蟻や青虫など日常的に昆虫に触れる機会があり、子どもたちは虫探しを楽しんでいる。あわせて園より数分のところに都立井の頭恩賜公園があり、自然の中で探索活動する姿が多く見られた。この特色を活かしテーマを「飼育」として、飼育をきっかけに子どもたちの自然への興味や関心を深め、探究活動を楽しんでいく。

2. 活動スケジュール

- ・4月から12月まで 昆虫の飼育、観察を行う。
- ・10月の運動会で昆虫のイメージあそびを行う。
- ・1月には他クラスとの交流の中で昆虫を題材としたごっこ遊びを行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・子どもたちが昆虫の飼育に興味関心が持てるよう、子どもたちの目線に合わせたテーブルと飼育ケースの準備
- ・観察した虫のイメージを再現できるような、画用紙や模造紙、折り紙、カラービニールなどの素材
- ・虫の住む世界を再現できるような巧技台など

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・園庭や散歩先で捕まえた昆虫を保育室で飼育し、蝶の幼虫が羽化して飛び立つまでの様々な変化を観察した。
- ・昆虫の補食を間近で観察し、虫により餌が違ったり食べたものにより糞の形態や色などの違いがあることに気づき、発見を子ども同士で共有したり、大人と楽しんだ。
- ・運動会やごっこ遊びでは、自分たちが好きな昆虫になりきってイメージ遊びを楽しんだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・ カマキリがバッタなどの虫を捕食しながら生きる様子を見て、驚いたり、素直に受け止めたり、様々な子どもの姿があった。
- ・ 観察を通して昆虫に親しみを持ち、自らが虫になりきり遊んだり、虫の世界を子どもたちと創り、高さのあるところに住む虫や潜って暮らす虫など再現し楽しんだ。
- ・ 「またやりたい!」「前は～だったね」など活動が積み重なっていく姿があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ たくさんの蝶の飼育を通し、さなぎからかえることが出来なかったり、羽化の途中で命が絶えてしまう姿をみて、命の大切さを感じたり、昆虫の成長を応援する気持ちの育ちがあった。興味が深まると、大人とは違う視点を持ち、子ども同士で活発な会話が行われた。
- ・ 子どもたちの姿を見て、次の楽しみを推測しながら環境を整えていくことで、探究が深まり発展していくことを感じた。